

華陽中だより

令和6年2月14日

キャリア教育特集 キャリア教育の取組について

キャリア教育とは、「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義されています。実践的な技能や知識を身につける実践型の教育が「職業教育」であるのに対して、キャリア教育は「職場に就く前の社会人としての姿勢や、考え方を身につける教育」と言うことができます。

ところで、先日お示した「学校評価アンケート結果」からは、興味深いデータの相関関係が読み取れました。「私は、将来の目標や夢をもっている（将来就きたい仕事ややってみようと思うことがある）」という質問項目に対し、肯定率が前期を上回った3年生は、「授業を意欲的に受けている」「授業がよく分かる」という項目の数値も前回より上昇していました。これは、学力においても部活動においても、「やらされる」のではなく、自分の将来に必要と考えて「主体的に行う」ことが大切であるということを示しています。

本校では、学力向上の課題にも取り組んでいますが、「学ぶことがなぜ大切か」「学ぶ姿勢が将来にどのように影響するか」といった心の姿勢を問いかける「キャリア教育」も、学習意欲向上のための内発的動機付けとして重要であると考えます。

今月は、1年生「働く人に学ぶ会」、2年生「立志式」、また3年生では「租税教室」が実施されましたので、キャリア教育の一環となるこれらの活動を、学年ごとに紹介したいと思います。

これらの「キャリア教育」の取組が、生徒たちの内面に変化を与え、今後の学びの主体性を引き出すきっかけとなってくれることを願っています。

立志式（2年生）

2月9日（金）の5、6校時に、2年生が講堂で立志式を行いました。この立志式は、日本で古くから行われていた「元服」にあたる儀式で、一人の人として「志」を立て、これからの人生に向け強い意志を表明し、前向きに自分の将来を設計しようとする力を培う式です。

当日は、保護者の方々や小学校の校長先生方にも生徒の立志の姿をご覧いただくと同時に、清水PTA副会長様からもご祝辞をいただきました。生徒の発表の中の言葉には、「実行力、決断力をつけたい」「嫌なことでも楽しんでできるようにになりたい」「周りの人を幸せにしたい」



「夢に向かって一歩一歩進みたい」「自分にできることを見つけて実行したい」「変わりたいという気持ちが大切」など、さまざまな思いが綴られており、大きな成長を感じることができました。



立志の決意発表 代表生徒（敬称略）

- 2-1
- 2-2 Web版では、生徒氏名は
- 2-3 掲載しません。
- 2-4
- 2-5

働く人に学ぶ会（1年生）

2月6日(火)の午後、1年生で「働く人に学ぶ会」が行われました。これは、職業人の講話を聴くことを通して勤労観や社会性を養い、将来の職業や生き方を考える機会とすることを目的としたものです。

当日は、消防士、プロカメラマン、看護師、飲食業といった異なる職種から4名の職業人の方を講師としてお招きし、話をさせていただきました。人生が変わるきっかけとなった職業との出会いから、日々の仕事のやりがいや大変さについて、さまざまな角度からお話いただき、生徒たちは興味深く話を聞いていました。講話の後には、生徒から積極的に質問も出ており、大変有意義な会となりました。



「働く人に学ぶ会」の様子。4名の講師の方の職種もさまざまであり、生徒たちは最後まで集中を切らさず耳を傾けていました。

租税教室（3年生）

2月13日(火)には、3年生の各教室で租税教室が行われました。これは、次代を担う小学生・中学生・高校生が「税」に対する関心を高め、未来の納税者として社会や国のあり方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的として行われているもので、山口県税事務所の方にお越しいただき、クラス単位で実施しました。

「税」と聞くと、難しいイメージを抱いている生徒が多いと思います。この租税教室では、「税」を中学生にもわかりやすく説明していただき、税の意義や役割といった基本的な考え方から教えていただきました。



非常食の提供 ～ 防災教育を考える～

1月24日(水)、防府市学校給食センターの設備の一部が使用不可能な状態となったため、献立を変更して、非常食を用いた給食を提供しました。保護者の皆様には、大変ご心配をおかけしました。

思わぬ形での緊急対応となりましたが、これも学びの機会ととらえれば、キャリア教育の一つである「防災教育」となります。

元日に起きた能登半島大地震では、避難生活を余儀なくされている方々がこうした非常食も利用しながら、緊急事態をしのいでおられる場面があります。給食時には、これらの災害にも触れながら、災害への備えの重要性や日頃の給食のありがたみについて考えてもらうため、全校放送を行いました。

各ご家庭の食卓でも、防災について話題が上がったのではないのでしょうか。これを機会に、いつ起こるか予測できない災害への備えについて、学校や各家庭で改めて考えていければと思います。



アルファ化米に水を入れて準備している様子

ふれあい夢通信

2月1日より、「ふれあい夢通信」ホームページに「第73号（2024春号）」を掲載しました。県教育・イベント情報など、本県教育に関する様々な情報が得られますので御一読下さい。

○「ふれあい夢通信」ホームページアドレス

<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/site/kyouiku/26130.html>

